



フジ・コーポレーション<7605>、宇佐美鉱油によるTOBを受け入れて株式を非公開化



タイヤ・ホイール販売のフジ・コーポレーションは、石油販売大手の宇佐美鉱油（愛知県津島市）によるTOB（株式公開買い付け）を受け入れて株式を非公開化する。宇佐美鉱油が展開する全国規模の店舗網を活用したタイヤ・ホイールの商圈や販売機会の拡大に加え、両社の自動車関連サービスのワンストップでの提供が狙い。上場維持コストの削減も見込む。

宇佐美鉱油は、低燃費化やEV（電気自動車）の普及で燃料油の国内需要の減少が見込まれるなか、車検・修理・カー用品販売などのカーライフ事業の強化を進めている。今回、フジ・コーポレーションを傘下に取り込むことで持続的な成長を目指す。

買付代金は約514億円。買付価格は1株につき2830円。TOB公表前営業日の終値2213円に対して27.88%のプレミアムを加えた。買付予定数は1814万7599株（新株予約権を含む）で、下限は所有割合50.01%にあたる907万5600株。

買付期間は2025年6月9日から7月22日までの31営業日。決済の開始日は7月29日。公開買付代理人は大和証券。

フジ・コーポレーションはTOBに賛同の意見を表明し、株主に応募を推奨した。同社の筆頭株主の遠藤文樹会長と、佐々木正男副会長は合計で48.57%の株式をTOBに応募することで合意している。TOB成立後、同社は東証プライム市場への上場が廃止となる。